

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(令和3年9月解析分)

1 今月のトピックス

■ 季節性インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンの両方の接種を検討いただいている方は、接種間隔に御注意を！！

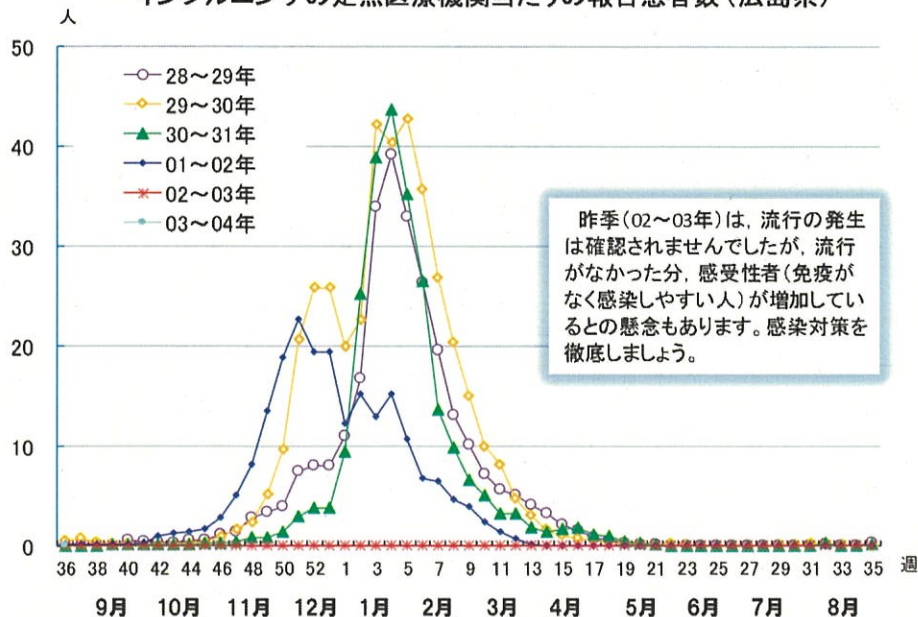
- 例年どおり10月から、季節性インフルエンザワクチンの接種が順次、始まりますが、現在、新型コロナワクチンの接種も並行して進んでおり、同時期に、両方のワクチン接種を検討いただいている方は、接種間隔に注意が必要です。

厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会（令和3年9月17日開催）

新型コロナワクチンと他疾病のワクチン（季節性インフルエンザワクチン等）との同時接種に関しては、安全性に関する十分な知見が得られていないことから、現時点では原則として13日以上空けることとする。

- 例えば、ファイザー社の新型コロナワクチンは、1回目と2回目の間隔が3週間となっており、この間に、季節性インフルエンザワクチンの接種を挟むことは、13日以上空けられないため、避ける必要があります。
- 季節性インフルエンザワクチンは、流行のピークに間に合うよう、例年12月中旬までに接種を終えていることが望ましいとされています。季節性インフルエンザワクチンの接種予約に当たっては、新型コロナワクチンの接種日も考慮しながら、あらかじめ電話等で医療機関と接種日時等について相談しましょう。

インフルエンザの定点医療機関当たりの報告患者数（広島県）



昨季(02~03年)は、流行の発生は確認されませんでした。流行がなかった分、感受性者(免疫がなく感染しやすい人)が増加しているとの懸念もあります。感染対策を徹底しましょう。

■ 今季の季節性インフルエンザワクチンの供給量

厚生労働省によると、今季の供給量は、昨季より少ないものの、例年の使用量に相当する程度は確保される見込みであること、10月の出荷は遅れるが、11月以降は供給が安定することから、大きな支障はないとされています。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和 3年 8月分(令和 3年 8月 2日～令和 3年 9月 5日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	1	0.00	0.08		10	ヘルパンギーナ	283	0.80	0.61	→
2	RSウイルス感染症	1,301	3.66	1.09	→	11	流行性耳下腺炎	8	0.02	0.23	↓
3	咽頭結膜熱	54	0.15	0.40	↓	12	急性出血性結膜炎	3	0.03	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	97	0.27	0.99	↗	13	流行性角結膜炎	38	0.40	0.73	↑
5	感染性胃腸炎	811	2.28	3.36	↘	14	細菌性髄膜炎	2	0.02	0.02	
6	水痘	20	0.06	0.21	↗	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
7	手足口病	36	0.10	1.12	↗	16	マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.15	
8	伝染性紅斑	1	0.00	0.13		17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	120	0.34	0.39	→	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和 3年 8月分(8月1日～8月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	103	4.48	2.65	↗	23	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	65	3.10	3.19	→
20	性器ヘルペスウイルス感染症	12	0.52	0.92	→	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	0.10	0.25	
21	尖圭コンジローマ	15	0.65	0.65	↗	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.01	
22	淋菌感染症	42	1.83	0.83	↗						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 流行性角結膜炎 (0.18 → 0.40)
- 急減疾患 咽頭結膜熱 (0.34 → 0.15)
- 流行性耳下腺炎 (0.10 → 0.02)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1~11	12, 13	19~22	14~18, 23~25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	16	結核(16)〔西部保健所(5),西部東保健所(1),東部保健所(2),広島市保健所(4),呉市保健所(2),福山市保健所(2)〕
三類	20	腸管出血性大腸菌感染症(20)〔広島市保健所(3),西部東保健所(1),東部保健所(1),福山市保健所(13),北部保健所(2)〕 重症熱性血小板減少症(2)〔呉市保健所(1),東部保健所(1)〕
四類	15	日本紅斑熱(10)〔呉市保健所(3),西部保健所(1),東部保健所(4),福山市保健所(2)〕 レジオネラ症(3)〔広島市保健所(3)〕
五類	24	ウイルス性肝炎(1)〔福山市保健所(1)〕 カルバペネム耐性腸内細菌感染症(2)〔西部保健所(1),東部保健所(1)〕 クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔広島市保健所(1)〕 バンコマイシン耐性腸球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 後天性免疫不全症候群(1)〔広島市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(3)〔広島市保健所(2),西部保健所(1)〕 梅毒(15)〔呉市保健所(1),広島市保健所(12),福山市保健所(2)〕
新型インフルエンザ等感染症	6,758	新型コロナウイルス感染症(6758)〔広島市保健所(3354),呉市保健所(354),福山市保健所(1363),西部保健所(597),西部東保健所(457),東部保健所(548),北部保健所(85)〕